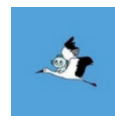


## 絵本やジオラマで学ぶ環境教育



いきものずかん（兵庫県立大学環境人間学部 EHC 学生団体）  
泉山真寛、赤松真治、東垣大祐、伊藤波輝、大谷直寛、  
北村胡桃、柴田理沙、長尾歩実、花谷和志



### 1. はじめに ～活動概要～

いきものずかんは、子どもたちを対象に、分かりやすい環境教育を目指している兵庫県立大環境人間学部 EHC（エコヒューマン地域連携センター）所属の学生団体です（以前は、PSS の名称で活動していました。）「海と空の約束」という紙芝居を使い、PSS 時代と合わせて今まで約 5 年間、姫路や神戸などの教育施設や水族館で活動してきました。最近では、「環境ジオラマ」を制作し、より実践的な環境教育の教材を開発中です。



～これまでの主な活動（西谷さん海空プロジェクトと協働）～

- ・須磨海浜水族園で紙芝居
- ・姫路白浜の海で環境教育（3 小学校合同事業）
- ・奥須磨公園フェスタで紙芝居
- ・神戸市の児童館でビオトープ整備&紙芝居&生き物観察
- ・神戸市生田川/都賀川/福田川で環境教育&紙芝居

他、多数

## 2. 海と空の約束プロジェクトの紙芝居活動とその意義とは

「海と空の約束（神戸新聞 mook）」、愛称『海空』は、明石市在住の絵本作家・環境教育コーディネーターである西谷寛さんが作成された、自然環境の大切さを伝え・考えるための絵本・紙芝居です。西谷さんは現在、海と空の約束プロジェクトという市民活動を展開されています。



もともとは我が子のために読み聞かせ用に作った創作童話で、それに有村 綾さんの絵を加えこの絵本・紙芝居ができました。環境教育の教材として高い評価を受け、国連生物多様性の10年日本委員会推薦図書に選ばれています。また、海空の活動は生物多様性アクション大賞の審査員賞を受けています。さらに、英語のほか11言語に訳され、JICA やオイスカを通じて『海空』は世界に広がっています。

物語は「海」と「空」を擬人化して展開され、お互いに助け合いながら生き物達と暮らし友情を育んでいくという、子どもが興味を持ち、感情移入し易い話になっています。ですが、その中に生き物が歩んできた進化の道のりや近年の深刻な海洋汚染による生物の減少、自然界の自浄作用と言った要素が盛り込まれています。

実際の教育現場では、紙芝居を上演するだけでなく紙芝居終了後は内容に関連した問いかけやクイズを出します。そうすることで、どうすれば海とその生き物を守っていけるのかという事をより深く考え・理解し、実践できることが判るようになります。活動場所としては児童館や保育園・幼稚園・小学校や地域イベントなど、幅広い取り組みをしています。

ところで、パワーポイント等のプレゼンテーションソフトが普及した昨今において、何故わざわざ紙媒体である紙芝居にこだわるのか、という意見を持たれる方も多いと思われます。確かに、その方がコストを安くする事ができますし、現に補助的にプレゼンテーションソフトを用いる場合もあります。

しかしながら、自分の身体よりずっと大きな紙に物語が描かれているという印象や、紙が捲られるその瞬間の気分の高揚は紙芝居特有の“味”で、また子供を強く引き付けるものです。それに加え、里山、川原、海岸と自然体験できる場所で電子機器を用いず紙芝居もできるという事が大きな強みです。自然の中で上演される紙芝居は人々の心に強い印象を与えるに違いありません。また、この自然にはこのような生物がいるのかと実感してもらえたり、自然を守りたいという気持ちやその実践についてより具体的に学べるのではないのでしょうか。

これからいっきものずかんは西谷さんと協力しながら、『海空』の魅力と自然や水の大切さを伝えていきます。

### 3. 環境ジオラマの制作

2015年度～2016年度、いきものずかんは環境教育の学習教材開発の一環として「環境ジオラマ」の制作に取り組みました。環境ジオラマとは、様々な生態系を構成要素として取り入れ、各生態系やその繋がり方について説明するジオラマです。これまで、ジオラマを環境教育の教材として用いた前例は少なく、これからの活動にも可能性があります。

ジオラマを使う目的は、以下の3つを子ども達にわかりやすく、体系的に伝えることです。

#### ①生態系同士の繋がり（異なる自然環境への理解）

私たちは海や山や川、里山、ため池など、様相の異なる自然環境に触れています。そこには、様々な生き物が生息しています。それらの自然環境では、お互いにどのような生態系関係があるのか、ということを立体的に視覚化します。

#### ②水の循環（水はどこから来て、どこへ向かうのか）

川の水が流れて海に注ぎ、そこから蒸発して、さらに山に降り注ぎ、森林を通ってまた川に流れ込むという「水の循環」をより直感的に理解できるようになります。「海と空の約束」も物語のなかで水の循環も扱っているのです、併用することも可能です。

#### ③人間活動と自然環境との適切な関わり方（自然との共生）

人間も自然環境が供給する様々な資源を利用しています。しかし、日本国内でも二次林の放置やゴミ問題・水質汚濁など、自然との関わり方に問題が表れています。そこで、この環境ジオラマでは、自然環境との適切な関わり方を考察できるような仕組みも施していきます（この部分は、現在も製作中です）。

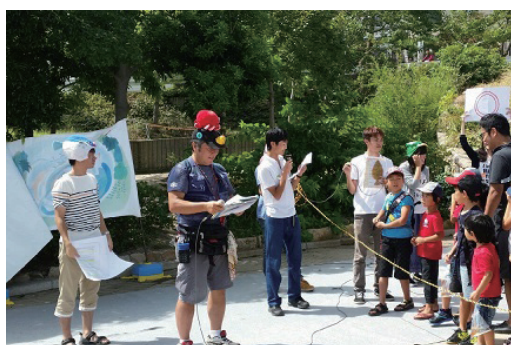


↑環境ジオラマ（縦）

↑環境ジオラマ（横）

#### 4. 活動の様子

～「海と空の約束」を使った環境教育～



～環境ジオラマを使った環境教育～

